

春日部市中心市街地まちづくり かわら版【創刊号】

中心市街地まちづくり計画の検討を進めています！

① 中心市街地まちづくり計画とは？

春日部市では、春日部駅周辺の鉄道高架化(連続立体交差事業)及び関連する道路整備等と一体となったまちづくりを推進するため、2019年4月に「春日部駅中心市街地まちづくり審議会」を設立し、「春日部市中心市街地まちづくり計画」(以下、まちづくり審議会)を審議・検討しています。

【まちづくり審議会とは？】

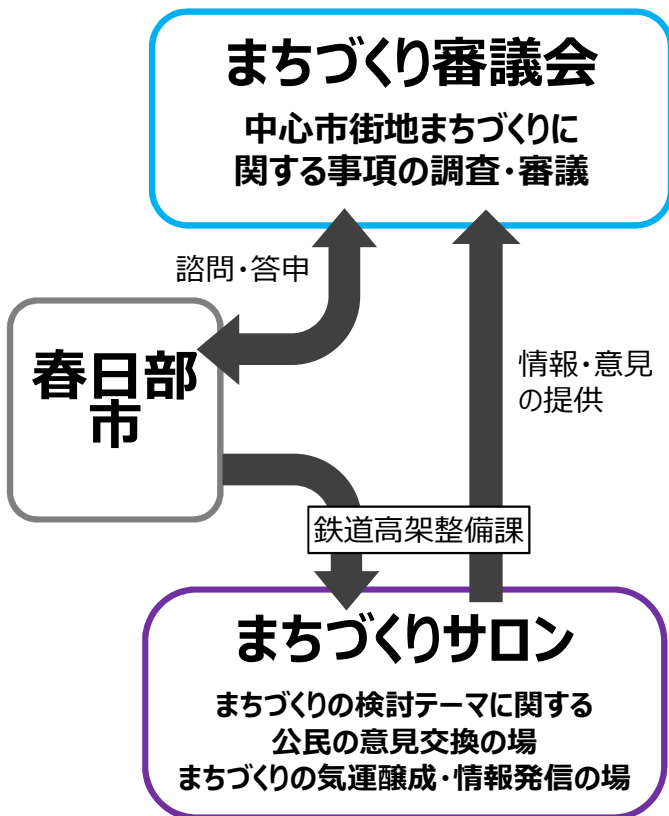
- 中心市街地まちづくりに関する事項を審議し、市長の諮問に応じ、審議結果を答申します。



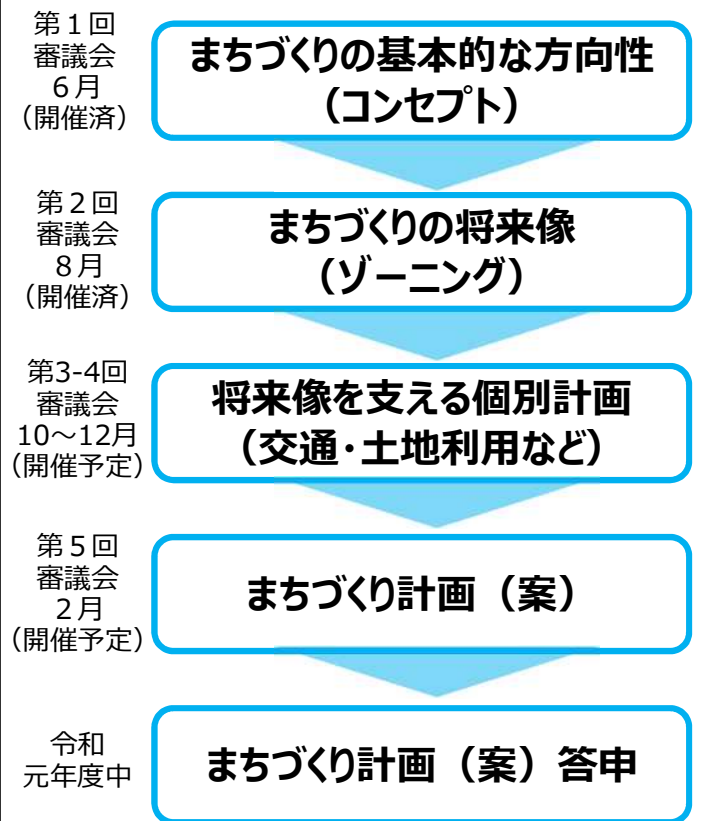
【審議会委員の構成】
学識者、公募市民、
商店街、町内会、
地元事業者、交通事
業者、関係機関 など



② 計画検討体制



③ まちづくり計画策定までの流れ



第1回春日部市中心市街地まちづくり審議会の開催概要

開催日時	令和元年6月28日（金）
議事	(1)審議会の進め方について (2)まちづくりの目指す方向性について
会議の主な内容	中心市街地の「これまで」「いま」「これから」やまちづくりを検討するうえでのキーワード（コンセプト）を議論しました



第1回審議会の様子

中心市街地の「これまで」「いま」「これから」

「これまで」の変遷

固有の地域資源

- 職人のまち
- 歴史・文化

豊富な都市基盤

- ストック
- 面積の1/3が公共空間

「いま」おきていること

活力・賑いの低下

- 空き店舗の増大
- 低未利用地の増大

人・商機の市外流出

- 若年世代の流出
- 市外で買い物増

「これから」を考えるヒント

市民の声

- 回遊行動少ない
- 共有できるコトにニーズがある

潜在需要

- 観光・ビジネス
- 多様化する働き方・価値観

今あるものを新しい使い方で活かす

- 公共空間
- 空き地・空き家

次世代

- 次世代技術導入

災害に強い

- 帰宅困難者対応

まちづくりのキーワード

審議会委員の方に、「あなたが共感するまちづくりキーワード」を提案していただきました。

公民連携

- 旧日光街道を利用した匠の街⇒食の匠・ものづくりの匠
- 「+学」もうまく使っていただきたい

人主役

- 歩行者主役

ストック活用

オンリーワン

- 音楽・文化

安全安心

注：カッコ内は「共感する」と答えていただいた人数、黒字（■）は審議会委員の補足コメント

こんな意見や提案ができました！

- 高架化するだけでなく「商人が生き残れるまちづくり」をやっていききたい。
- 一部の道路を、車両進入禁止にしてオープンカフェのような道にしていききたい。
- 広場を多くつくっていくことは必要なことである。春日部の強みである音楽を生で体験できる場が必要である。
- 春日部で買い物をしてもらいたい。皆さんが歴史を築いてきた努力を大切にしながら、若い人たちのエネルギーを融合させたい。
- 高架化によって広域的に春日部のポテンシャルを高めていかななくてはならない。
- 公共空間などが充実している点が住みやすさに繋がっているのではないかな。